



災害等により家屋等が損壊した場合、アスベスト含有建材が使用されているとアスベストが飛散している可能性があります。住民や災害ボランティアの皆さまが家屋等の片付けをするときは、アスベストのばく露防止対策を行うようにお願いします。  
アスベストは、ばく露から10～40年程経過して肺がんや中皮腫等の病気を発症する場合があります。

### 注意が必要な状況・作業

1

・損壊した建物の屋内やその周辺で作業を行う場合

2

・がれき等の移動や撤去を行う場合

3

・解体等工事の粉じんが気になる場所での長時間作業

### ばく露防止のための対策方法

1

・防じんマスクを着用する（下欄防じんマスクの種類参照）

2

・スレート等のアスベストを含有する可能性がある建材を破断・切断する作業はしない

3

・やむを得ず破断・切断する場合は散水し湿潤して粉じんを押しさえる

4

・むやみに作業現場や解体現場に近づかない

### 作業別の防じんマスクの種類

アスベスト建材の破砕等による除去作業

・規格、DS3・RS3以上  
・粒子捕集効率99.9%以上

アスベスト建材を湿潤化し手ばらし作業

・規格、DS2・RS2以上  
・粒子捕集効率95%以上

アスベスト建材に関わらない一般的な作業

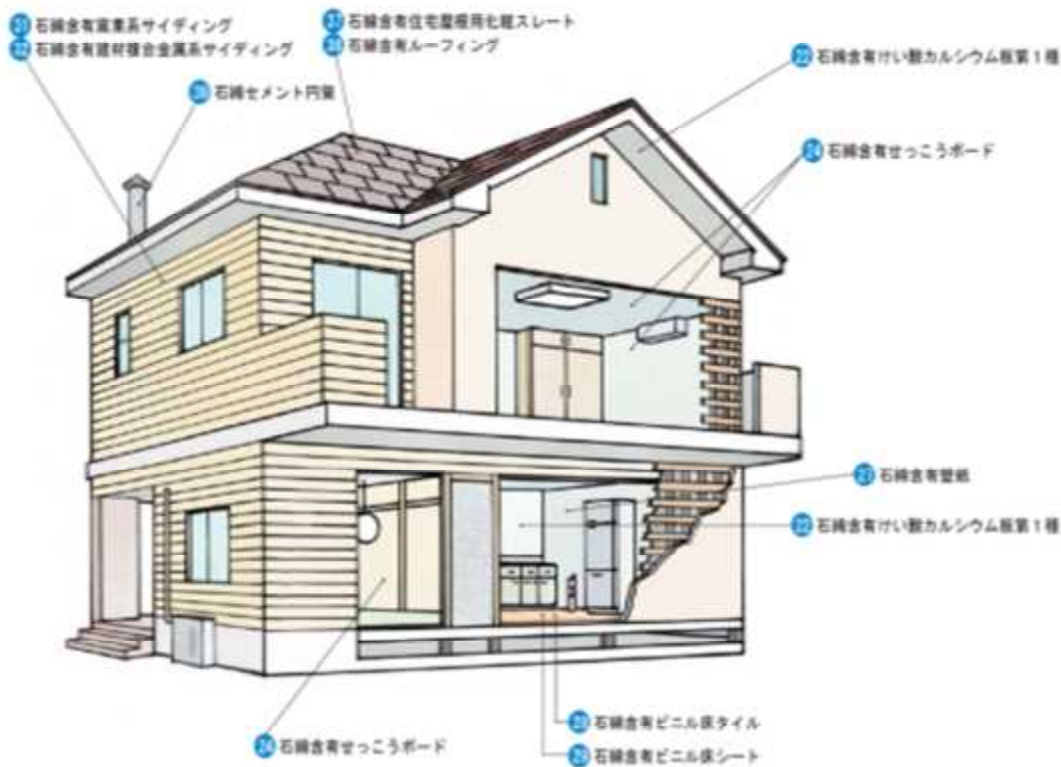
・規格、DS2・RS2以上  
・粒子捕集効率95%以上

### 建物を解体・改修・補修する場合

- 1 工事受注者によるアスベストについての事前調査が必要です。
- 2 アスベスト含有吹付け材や断熱材・保温材がある場合は、工事受注者から大気汚染防止法の届出が必要になります。



## 【アスベスト含有建材の使用例】



QRコードで  
アクセス



出展「目で見るアスベスト建材（第2班）」国土交通省

QR から国土交通省ホームページ「目で見るアスベスト建材」の冊子

をご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/010331\\_7/01.pdf](https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/010331_7/01.pdf)

粉じんのばく露を防ぐために

## 正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。

- 厚生労働大臣の型式検定  
例: DS2マスク 等
- NIOSH規格  
例: N95マスク 等
- 欧州規格 (EN149)  
例: FFP2マスク 等

（使い捨て式防じんマスクについて「悪い例」の紹介）



しめひもが片側  
はずれている

マスクが上  
下逆さま

しめひもが首  
元で2本がけ  
になっている

しめひもを加  
工して耳かけ  
式になっている

### 防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する。

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は  
①マスクの位置を調節する  
②しめひもの長さを調節する 等  
を行って再度確認してください。

※注意事項

-防じんマスクの規格は用途に応じた規格がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。  
-防じんマスクは作業現場では絶対に使用しないで下さい。  
-使用中にマスクが濡れたり、呼吸が難しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください。

資料出典：(社)日本保安用品協会  
日本呼吸用保護具工業会  
スリーエムヘルスケア(株)

QRコードで  
アクセス



出展「正しく防じんマスクを着用しましょう」環境省

QR から環境省ホームページにて詳しい装着方法がわかります。

<https://www.env.go.jp/content/900481318.pdf>